

御宿台

Onjukudai-ku News

2004 春号

No. 16

区運営委員会編集・平成16年4月5日発行



春一番

新春恒例の撮影会は必ず水仙で始まり、梅、桜と花を撮り続けて、熟年パワーで大いにアピールしております。(庭の一景)

写真と文：松田辰秀 (112-08)

■「御宿台サークルCoCo」の発足にあたり

このサークルは高齢化の著しい御宿台において、住民同士がお互いに、できる範囲で援けあう相互扶助社会の実現を願って、この1月から発足したボランティア団体です。

現在30数名の支援スタッフで次の様な活動を始めました。

- ☆ 一人暮らしのご高齢者を優先し、交流と親睦を兼ねた「食事会」
- ☆ 犬の散歩が一時的に困難な方のための「犬の散歩応援」
- ☆ 外出が困難な方に、車での「外出お手伝い」
- ☆ その他、一時的に人手が必要な方、緊急時の手助け等に「各種ご相談窓口」

この活動は利用者が少なければ目的を果たすことができません。引き続き依頼者の方々の真のニーズを確かめつつ、それに応えることができるよう、活動分野の拡充、支援者の拡大、きめ

細かなサービスに力を注いでまいります。

私たちは、これからも着実に支援の輪を拡げて行く中で、利用する側、される側、共によるこびを分かち合い、御宿台生活の潤滑油として地域になくってはならない存在へと成長してゆくことを願っています。

私たちは、今後も長期的視野に立って、行政機関との連携、他地域の同種のサークルとの情報交換、会員の円滑な世代交代など、活動の基盤作りに努めてまいります。

この活動は、何よりも地域、特に御宿台の皆様の深いご理解と温かいご支援がなければ成り立ちません。必要な際にはお気軽に、当サークルにお声をかけてくださるようお願いいたします。(詳しくは、当サークルのしおりをご覧ください。)

井上 昭男(109-04)

御宿台区の動き

区運営委員会から

平成15年度年次総会開催される

平成15年度の御宿台区年次総会が、3月27日(土)午後1時30分より4時まで、集会所ホールで開催されました。当日の出席者は47名、委任状373通、計420名で総会成立要件を満たし、議長選出ののち審議に入りました。

15年度の活動報告、会計報告に続いて役員の変更がおこなわれました。その後、16年度の活動方針、予算が提示され承認されました。詳細は、添付の「年次総会報告」を参照ください。



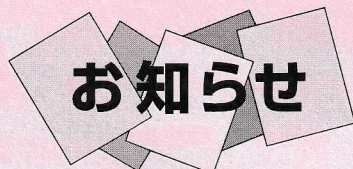
多数参加の総会風景

住民アンケートの集計結果

「維持管理費専門委員会」と「規則改定委員会」の二つの専門委員会(既報)における検討事項に関して、皆さんのご意見を問うために昨年12月に住民アンケートが実施されました。テーマは、1) 今後余剰化が見込まれる維持管理費の扱い、2) 御宿台区の住民組織のあり方、に関するものでした。アンケートの結果は、すでに2月10日付にて個別に皆様方にお知らせしたとおりです。

住民意見交換会が開かれる

アンケート結果について、より詳細な説明をおこない区会員の皆さんからじかにご意見を聴取するために、住民意見交換会が2月29日(日)、午後1時半から5時まで御宿台集会所で開催されました。あいにく当日は悪天候に見舞われましたが約30人の参加があり、御宿台の住民組織のあり方、維持管理体制、維持管理費等に係る諸問題についての活発な意見交換がおこなわれました。今後、運営委員会では、アンケートや意見交換会における皆さんの意見を十分に勘案しながら、活動をおこなって行く所存です。



自然散策路が復旧

御宿台中央公園にある自然散策路は、昨年秋の台風により一部損壊し「進入禁止」となっていましたが、損壊部分の修理が終わり開通しました。なお、急坂は滑り易いので足ごしらえは充分にしましょう。

情報

2月29日現在

御宿台開発状況

売却済分譲地：1,120区画 建築中：23戸

建築戸数：701戸 定住届出：319戸

乗合バスの利用

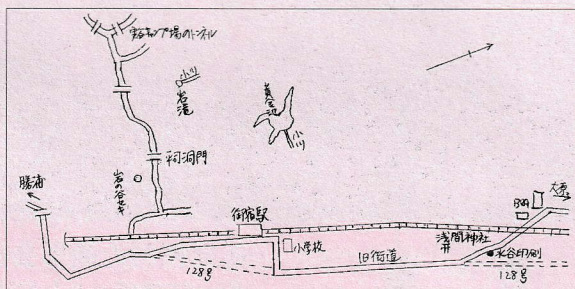
12月/447人 1月/324人 2月/351人

春季病害虫消毒：135戸(運営委員会斡旋)

町の古老が語る 御宿町の20世紀

— 井上巖さん(久保在住)に聞く — (文責編者)

今回は旧街道の頃を振り返りながら昭和30年の町村合併、45年頃から始まった一連の開発過程についてお話をしましょう。昭和10年の地図(下図)を見ますと、鉄道はすでに大正3年の開通で記されています。旧街道は、現在の国道128号線にその一部をとどめています。



線路から御宿台を貫く未開発道路(予定線)上には、平岡神社を含めて4箇所にトンネルがありました。西に向う細い道路の南側には「岩の谷堰」が、北側には「黄金池」が認められます。

昭和30年の町村合併

昭和30年の町村合併は実質布施村の分村でした。市販の地図で見るとおり、上布施地区は御宿町の西に入り込んだ地形です。御宿町は農地が欲しいこともあり上布施との合併を望みました。当初は何かと摩擦がありましたが、現在はシコリも消えています。しかし、実谷、上布施の人々は下布施(大原町)の三島神社(郷社)の氏子であり、秋の祭礼は春日神社とは別です。現在進行している町村合併も経済面のみでなく、お互いに十分な話し合いと理解が必要でしょう。昭和30年の合併は、上布施、実谷(七本を含む)及び岩和田が、旧御宿6区と合併したものです。

詠むころ

どこよりぞ

ジャズ流れる春の宵

岩田 明

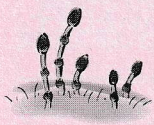
花にまだ早き浦曲の山路ゆく

岡田まさし

つくしんぼ

吹かれながらの背くらべ

小野 玲子



御宿台開発

役場の職員としてお手伝いをしたので若干お話しします。西武御宿台開発は県及び町の水道施設建設計画と深い関係があります。御宿町は昭和40年に至っても、必要な水を地下水（井戸水）と山からの湧き水に依存していました。300m級の山々が隣接しているので地下水は豊富だが近い将来、水が不足するのは明らかでした。そのため県と町は水道用として御宿ダム（水ため）の建設を、更に県は利根川からの利水を計画し、西武グループも加えて開発計画が成立しました。計画が具体化したのは昭和46年でした。以後48年に建設着手、実谷に浄水場建設、現在の御宿台山頂に貯水場設置、第一、第二揚水場（ポンプ場）設置、町道0110号（民宿日の丸から町道0106号線に至る）を建設、この道路に水道本管を埋設するなど一連の建設が先行。昭和53年10月水道使用開始、同時に土地の買収と御宿台開発が進みました（昭和55年）。

御宿台100番街の土地販売開始は昭和63年7月、ラビードール完成は平成2年10月、因みに神定平司さんが昭和6年から9年にかけて掘削した平司洞門は町道0110工事で消滅しました。その小道は平司洞門を含め4つの隧道があり、現在実谷キャンプ場に至る隧道が生き残りの一つです。なお、御宿台は山を削った土地であり盛地は殆どありません。西武案内所西側の広場は田んぼでした。山裾に岩滝があり綺麗な清水の池がありました。池は広げられて現在の岩滝の池となっています。黄金池は現在の2倍の広さでした。それぞれ清水川の源流です。（終）

井戸端

房総特急に新型車両

房総特急用の古い車両が新型車両に変るそうです。JR東日本では、房総地区の特急に使用されている車両を平成16年度と17年度に分けて新型車両に置き換えるとのこと。外房線の特急は現在「ビューわかしお」用と「わかしお」用の2種類の車両が使用されていますが、「わかしお」用の車両は国鉄時代のデビュー以来30余年を経過しており、JRになってから登場した「ビューわかしお」用の車両とは色々な面で格差が目立っていました。今度の車両は、中央線特急「あずさ」用に一足先にデビューした新鋭車両（E257系）で、車体外部の塗色は「ビューわかしお」と同じ青、黄、白の3色が採用されるそう

です。新型車はオール普通車の5両編成（現在は8両編成）。4月以後の新年度より製作発注が行われ今年の夏に新車が完成し、性能確認と乗務員の訓練運転が終わると実際の営業運行に就く予定とのこと。 （405-12 佐伯 光一）

●大威張りで

何年も前、同僚から耳にしたことですが、或る日通勤途上のバス内で座席の前に立っていた年配の女性に席を譲ったところ、次の日も、その次の日も彼の座席の前に立たれて当惑したとのことでした。彼の好意は繰り返し期待されたのでしょうか。本人は座席確保のため毎朝早めにバス停で列に並んでいたそうです。

つい最近、和田町を抜いて千葉県下の高齢化率首位に立ったのは御宿町だそうです。なかでも御宿台となれば超高齢化社会といえるでしょう。年寄りの存在は昔ほど希少価値はないのです。70歳を「古来稀なれど近年ザラ也」と戯言も言われます。日本社会の「甘えの構造」は夙にいられていますが、高齢化社会の今日に至っても、年寄りを取り巻く人々の意識には変わりはないようです。年寄りなのだからという理由だけで乗り物の無料バスに始まり、税制、医療費負担など甘えのメニューは目白押しですが、これらの社会的コストは誰かが担っているのです。年齢差だけをもって負担の軽重を是とすることは果たして公平といえるのでしょうか、また、このようなことはいつまで続けられるのでしょうか。

年齢別の人口構成とその動向、世の規範意識の変化にも沿って、我々高齢者自身が「年寄りなのだから」意識を捨て、若者に厄介者扱われることなく自立自尊の気概を持ち続けて最後のステージを終わりたいものです。

宮田 成隆 (203-07)

会員の投稿を歓迎します

「井戸端」、「ちょっと一言」欄などへ、役に立つ耳寄り情報や建設的なご意見などをお寄せください。それぞれ400字以内でお願いします。また、第1面の写真、詩歌欄「詠むところ」、最終頁「やまぼうし」欄への投稿も歓迎します。紙面の都合あるいは内容によって、掲載の採否、掲載時期等については編集委員にご一任願います。

最高級そばと地酒の店

そば処

竹むら

☎68-8888

くつろぎの館

創作料理

宗苑

☎68-8887



御菓子司

海月堂

製造発売元

御宿町須賀572

☎68-2345

一人前より 出前迅速

うぶぎ
鶏丸

高山田 高校前通

☎68-4867

ペンション・
中華レストラン

チャイナ

出前 承ります!!

☎68-2920
ニクニレ

本
格
手
打
の
店
本
粉
は
国
産
石
臼
碾

きん
ぎょ
ば
し
七

上布施

☎68-5220

◆ 御宿に乾杯！

シングルになって、さて何処に住もうかと考えましたがと
りあえず旅行にと出かけました。帰ってきた私を待っていた
のは、長男が用意してくれた季候の温暖な御宿生活でし
た。もう1年7ヶ月になります。最初から全然違和感がなく、
すぐに御宿人になり、何の不安もなく暮せるのは、ご近所に
恵まれたからです。御宿に住んで地元の方とお付き合いしな
いのは、本当の御宿暮らしではないと思っています。おかげ
さまで歩こう会に入れていただき地元のお友達もできました。
東京の友人も定期便のように来て、楽しかった、またネ、と
帰っていきます。今までの人間関係の貯蓄は老後を明るくし
てくれる財産だと思います。さざんかの会のお手伝いをする
ことで、楽しみ上手な私は、これからも退屈を知らない生活
をするでしょう。気候、風景、人情、美味しい物、これだけ
揃った御宿に乾杯！

(222-14 佐々木 洋子)

◆ 私の家族

昨年6月、鶯の鳴き声の中、31年間住み慣れた所沢より引っ
越してきました。内房、館山は私達夫婦の生まれ育った土地で
すので、また南房総へ帰ってきたわけです。私は定年退職後、
以前資格を取っていた行政書士の仕事を始めました。しかし畑
も大好きなので両立が大変です。ビスクドール人形に魅入られ、
暇をみては制作に励んでおります妻と大原町にある夷隅あかね
園に通う歌の大好きな知的障害者の息子と3人で暮しています。
いやもう一人(匹) チンチラシルバーの美人のさくらと言う名
前の猫も一員です。

私達3人は地域の皆様に支えられて現在に到っています。当
地のこの清涼な空気と明るい陽射しの中でコミュニティの方々
との交流も少しずつ始まりました。この御宿台の中で、自分達
がそれぞれ生きていることの喜びが味わえるよう生活してい
きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

(214-03 野口 正義)

やまぼうし

区民の談話サロン

◆ 楽しい余生の住

平成13年9月ここ御宿台に移り住んで2年余が足早に去りました。
都会の騒音を離れて退職後の自身を土とともに暮そうと野菜や花果
樹作り。自然はとても厳しく特に風と塩の害で生育途中で枯れたり、
虫やヒヨドリに食べられたりで成果はほんの少しになってしまいま
すが、また次の季節が来ると作ろうと準備をしまいます。良い土と
愛情をもって色々工夫すれば植物は決して裏切ることなく、予想も
しない素晴らしい成果を提供してくれます。昨秋頃からモグラが掘り
返すので忌避薬を埋め込んで、次から次へと掘り返され苦労の連
続です。負けずに土を耕して春先の花や野菜果樹の肥料やら消毒を
して今年こそは良い成果があることを想いながら暖かい日に作業を
しています。少しずつ気力、体力が減少して計画したようには進まな
くなりましたが、この地は東西南北に準じて区画整備され日当たりが
良く、植物も私の健康維持にもとても「すばらしい」住です。

(420-07 元木 郁夫)

◆ 御宿暮らし

東京で高い事務所経費を掛けるよりは御宿を別荘兼仕事場とし、将
来に定住しようと思いついたのだが、住んでみると空気が澄んでい
て星や月が美しく、窓から見える深紅の日の出に魅せられて、ついつい
御宿暮らしが長くなり今では四街道市の自宅へは時々行く程度で向
こうが別荘となってしまいました。

ここではラビドールや地元の人も含め短期間に大勢の知己を得まし
た。海岸や朝市や体操教室などで挨拶を交わす人から散歩の途中で
立ち話する方、囲碁仲間、菜園の先輩等々、また犬(茶々)を仲介した知
人も多く、名前に違わずゴルフボールやカケッコ、輪投げ遊びが大好
きなお茶目なお転婆娘で誰彼なく、また大小の犬に関係なく、ぐるぐる
回りながらしつこく挨拶するので嫌がられたり親しまれたりで飼主
よりも顔が広いようです。なかなか茶々から淀君には成長できないで
います。皆様、通りで出会ったら声を掛けて下さい。飼い主共々カミツ
キはしませんから。

(226-08 片山 博)

編集 後記

維持管理費について、予算、
執行、決算のすべてのプロセ
スに運営委員会が関与し、そ
の値下げも本年度から実施さ
れることで協議はすすんでおります。新時代の
幕開けとも言うべきでしょうか。

開発から15年の歳月が経ちますと当初はあ
まり気にもしていなかったような問題も生じて

きております。高齢者の比重がますます高まる
当地の問題として、治安秩序や災害対策、連絡
システム、買物と病院通いの対策などにも住民
の関心は向けられてきております。幸いにも毎
年建築戸数は増加しておりますので、1戸あた
りの管理費負担は減少します。そのなかで納
得のいく管理費の支払いと使い方がこれから
の課題となるでしょう。(鈴木)

区運営委員会委員

鈴木 正也	会長	210-13	68-6961
瀧口 義雄	渉外	103-09	68-3661
塩入 健次	環境・衛生	109-02	68-2789
加藤 一輝	環境・衛生	211-09	68-5755
立石 興世	総務	214-01	68-7248
宮田 成隆	会計	230-07	68-7822
水本 清司	広報	313-02	68-3115
小林 英輔	渉外	319-10	68-5482
滝川 泰	環境・衛生	333-05	68-5540
佐伯 光一	環境・衛生	405-12	68-6360

平成 15 年度御宿台区年次総会報告（要点）

平成 15 年度御宿台区年次総会は、3 月 27 日（土）午後 1 時 30 分より 4 時まで、集会所ホールで開催されました。議長選出後、総会の成立確認、続いて審議に入りました。出席者 47 名、委任状提出者 373 名、計 420 名で会員総数 696 名の過半数を超えて総会成立要件を満たし、15 年度の活動報告、会計報告に続いて役員の変更がおこなわれました。その後、16 年度の活動方針、予算が提示され承認されました。以下はその報告（要点）です。

I. 議長選出

議長、議長補佐に立石興世氏（214-01）、前田修平氏（316-09）がそれぞれ選出された。

II. 平成 15 年度活動報告

1. 運営委員会関係

1) 総括

御宿台区の「余剰化する維持管理費の扱い」、「区組織のあり方」と「住環境の維持管理」についての考察に精力を傾けた 1 年となった。委員会内部で議論を重ねるとともに、それぞれのテーマについて専門委員会を設置し、住民の意向を聞くためのアンケート調査を実施した。その結果（2 月 10 日付にて個別にお知らせ済み）に基づき、今後のあるべき方向性について概ね運営委員会内部の意思統一をみた。アンケートに提示された維持管理費に関する申し入れについては、5～6 月をメドに次期運営委員会と西武との間で合意書を締結することになる。管理費の値下げ提案については、すでに西武は同意しており、9 月の払込請求時に今年度分の調整をすることになる。住環境の維持管理については、今後も西武への委託を前提とするが、計画、予算、決算など一連の過程に運営委員会が積極的に関わっていくことについては西武の同意を得ている。

2) 専門委員会の活動・アンケート・住民意見交換会

A. 維持管理費に関する専門委員会

余剰化が見込まれる維持管理費についての対応策を検討するために専門委員会を設置した。維持管理費の値下げ、定期的な見直し、平成 14、15 年度維持管理費の余剰金 1,100 万円の取扱いなどについてのアンケートを実施した。専門委員会では、緑の環境、汚水処理、TV 共同受信施設、事務管理費の各分野についてそれぞれ分科会を置いて調査をおこなった。

I. 御宿台区規則改定に関する専門委員

「住民組織のあり方」と「住環境の維持管理」について、基本的に異なる二つの意見に対する住民の考えを問うために住民アンケートを実施した。その結果、従来どおりの組織のもとに、西武による管理を継続することに多数が賛意を表明した。アンケートの結果は会員各自に報告済みであるが、加えて、報告会を兼ねた住民意見交換会を 2 月 29 日に開催した。区規則細部の改定については、今後、新運営委員会のもとで、さらに検討を継続することになる。

3) 環境整備

公園、緑道、遊歩道などの公益的施設は平成 12 年に町へ移管済みである。公的基準を超える環境保持のためには維持管理費を充当しなければならない。町、西武、区の間では「御宿台公益施設管理協定」が締結されており、11 項目の管理区分、作業項目を設定した「年間作業計画表に

沿って管理作業を実施している。三者間の協議を一層緊密にし、できる限り速やかに16年度の協議を実施する必要がある。

4) 病害虫駆除の共同薬剤散布

運営委員会の幹旋で、(株)エイドによる病害虫駆除のための薬剤散布を年3回、春、秋、冬期に実施している。今年度は、春季198戸、秋季202戸、冬季126戸に実施した。

5) 区会報の制作と配布

季刊紙として年4回発行、発行部数は1600部。住民からの投稿を歓迎する。各戸への配布にはボランティアの方々の貢献があることを申し添える。

2. 行政区関係

1) 総括

町行政との緊密な連絡、連携によって御宿台の円滑な発展を図るものである。具体的事項については担当委員から報告する。

2) 土木委員

懸案であった西武案内所脇交差点東側登坂途中に「速度注意」の立て看板が設置され効果をあげている。イノシシ対策について農水課に要請、わな、檻等が設置された。区域内の構築物の安全性や陥没地点等の改善について要請をする必要がある。

3) 衛生委員

美化ステーションの実態調査を実施した。家電製品や粗大ゴミの放置、分別が不十分なものが散見された。各位の自重を望みたい。

III. 平成15年度会計報告・監査

3/4頁に記載通りの決算報告ならびに監査報告（稲村敏彦氏）がおこなわれ承認された。

IV. 役員改選

下記10名が新運営委員として選出された。（五十音順・敬称略、住居番地）

加藤一輝(211-09)、小林英輔(319-10)、佐伯光一(405-12)、塩入健次(109-02)、
鈴木正也(210-13)、滝川 泰(333-05)、瀧口義雄(103-09)、立石興世(214-01)、
水本清司(313-02)、宮田成隆(230-07)

（矢作退任、塩入、滝川、立石は新任、他7名は留任）

V. 平成16年度活動方針（新運営委員会から鈴木委員が説明）

2つの専門委員会の結論を軌道に乗せるという考えから、今後の基本方針についての考え方を統一した。すなわち、①住環境の維持管理を従来通り西武に委託する、②親睦活動（サークル、世代別活動等）は自主性に委ねるが積極的に側面支援をおこなう、③区内の自主防災、連絡網については今後の重要課題として研究し、実践可能な方策を講ずる。なお、規則改定については、専門委員会を設置して技術的な事項（会員資格、議決権等）について継続検討し、なるべく早期に改定案を作成したい。維持管理費については、西武との協議を密にして、計画、予算、実施、決算などすべての段階で積極的に関与していきたい。なお、各関係機関とは信義と信頼に基づいた関係を維持する。運営委員2名の増員により新陳代謝を図るとともに活動の拡充を目指す。

VI. 平成16年度予算案（新運営委員会から宮田委員が説明）

4/4頁の予算が提案され、承認された。

VII. その他・質疑応答

出席者から、下記の質問、意見の表明などがあつた。

1. 4年間統計委員を勤められた倉島委員に対して運営委員会から謝意が表明された。
2. 防犯カメラ設置の可能性を含めて地区内のセキュリティの改善を図る必要があること、また、住民の便宜を考慮して区内に公衆手洗所の設置が必要ではないか、との提案がなされた。
3. 管理費値下げに際しては、他方で防犯対策をも考慮しておくべきではないか。
4. 住民の意見極めて多様であり、検討に際しては十分に広く意見を聴取することが民主的な取り上げ方と言えよう。
5. 運営委員会の今後の基本方針を評価したい。過年度には西武による維持管理の計画と結果のズレが見られた。今後の実効ある運営委員会の関与を期待する。インフレなどを視野に入れた中長期的ビジョンについてもなんらかの研究を期待する。 以上

御宿台区平成15年度会計報告

平成16年2月29日現在

項 目	金 額(円)	備 考
収入		
前年度繰越金	655,208	
会 費		
平成14年度分	2,000	2戸
平成15年度分	645,000	615戸+ラビドール(30,000)
費 会 費 計	647,000	
広告料収入	50,000	海月堂、チャイナ、鶴丸、幸七、竹むら
町補助金 1	466,000	事務費補助、連絡費補助
町補助金 2	228,800	防犯灯補助
環境対策協議会より	235,971	
利息	35	
収 入 合 計	2,283,014	
支出		
事務費	60,495	
通信費	366,340	総会、会報、専門部会報告
印刷費	263,871	会報 4回、総会
管理費に付替	228,800	防犯灯補助
什器備品	48,583	
委員手当	60,000	
雑費	11,087	
小 計	1,039,176	
次年度繰越金	1,243,838	
支 出 合 計	2,283,014	

御宿台環境対策協議会 平成15年度会計報告

平成16年2月29日現在

項 目	金 額(円)	備 考
収入		
前年度繰越金	235,958	
利息	13	
収 入 合 計	235,971	
支出		
御宿台区会計に付替	235,971	
次年度繰越金	0	

監査結果

区会計並びに環境対策協議会会計については、適正に処理されているものと認める。(監査：稲村敏彦氏 102-9)



御宿台区平成16年度予算

平成16年3月

項目	金額(円)	備考
収入		
前年度繰越金	1,243,838	
会費	675,000	645戸×1,000+30,000(ラビドル)
広告料収入	50,000	5件×10,000
町補助金 1	734,000	事務費補助 224,000 連絡費補助 510,000
町補助金 2	228,800	防犯灯補助
西武会報代	100,000	会報 2,000部
利息	50	
小計	1,787,850	
合計	3,031,688	
支出		
事務費	80,000	
通信費	300,000	総会、会報、専門部会報告
印刷費	300,000	会報 4回、総会
什器備品	600,000	OHP、他
調査費	500,000	管理費の項目に関する調査、コンサルタント料、交通費、他
委員手当	300,000	町の委員兼務以外の委員 5名 5,000円/月
管理費に付替	228,800	防犯灯補助
雑費	30,000	
小計	2,338,800	
予備費	692,888	
合計	3,031,688	

お知らせ (追加)

新運営委員会は3月28日の会議において、互選により会長(行政区々長兼任)に鈴木正也委員を再任するとともに、各委員の担当分野を下記のとおり決定しました。また、区長を含めて5人の行政区委員を選任、近日中に町行政に対して推薦する予定です。

氏名 (住居地番)	運営委員会 (担当分野)	行政区(予定) (担当分野)
鈴木正也(210-13)	会長	区長
瀧口義雄(103-09)	渉外	
塩入健次(109-02)	環境・衛生	
加藤一輝(211-09)	環境・衛生	
立石興世(214-01)	総務	衛生委員
宮田成隆(230-07)	会計	
水本清司(313-02)	広報	
小林英輔(319-10)	渉外	区長代理
滝川 泰(333-05)	環境・衛生	土木委員
佐伯光一(405-12)	環境・衛生	土木委員